

第9号

わ

がまち・にのみや

～生活支援コーディネーターだより～

発行/高齢者の相談窓口 二宮町地域包括支援センターなのはな
住所/〒259-0196 二宮町二宮961(二宮町役場庁舎1階) ☎0463-71-7085 R4.8 発行



お互いさま推進協議会

(二宮町全体の生活支援に
ついて話し合う協議体)

話し合いの中で活動する様々な機関や団体から出るキーワードが **担い手不足!**

ひとりの困りごとは地域の困りごと! 助け合い活動や地域のつながり、
支え合いの大切さについて考える機会として令和4年3月23日(水)に

「地域福祉課題共有セミナー」開催!

田園調布学園大学 和(かのう)秀俊 准教授による講演と町内の助け合い団体として
3つの団体に活動内容を発表していただきました

みかんの会

認知症の方が安心して
暮らしていけることを
目的に見守り活動を
行っています

送迎ボランティア

おーるうえいず
交通手段がなくお困りの方
に送迎を提供しています

富士見が丘1丁目

ほほえみの会
居場所づくりと
支え合い活動を
行っています

地域の協議体でも「担い手」をテーマに意見交換しました！

- 「担い手」不足の原因は定年が伸びたこと、社会全体が個人主義になったことではないか
 - 民生委員・消防団・地区役員・子ども会などの「担い手」探しに苦勞している
 - 新しい世代がどのような活動をしているかわかりにくい
 - 地域活動への意識が変わってきている
 - 既存の団体や活動を見直す
 - 新しい世代の考える「担い手」は、自分たちの興味関心に属しているものが多い
 - 社会全体が変化している。人とのつながり、家族関係の変化などを踏まえ、既存の仕組みを改めて見直す必要もあるのではないか
 - 町の活動が一覧でわかるようなものがあればよい
 - 新しい世代に合わせた仕組みづくりが必要ではないだろうか
 - 既存の「担い手」と、新しい世代の考える「担い手」にギャップがある
 - 移住のタイミングで町内会などの情報が届きやすい仕組みが必要
 - アンテナを張っている
 - 新しい世代はSNSでつながっている
 - 新たな担い手を経験者がサポートする仕組み
 - 担い手になった人が活動しやすい体制を整えたい
 - 住民同士のコミュニティは広がっているようだ
 - 場を開くことで自然とつながれる機会を作れるのではないかと
 - 「こんなことやっているよ」と伝えることで、興味を持って近づいてきてくれる人もいるのではないかと
- 様々な意見が出た中で「担い手」を探すことも重要だが、色んな人や団体と「つながる」ことの大切さを感じました！
- 担い手を探すだけでなく担い手になりそうな人とつながる機会を持つことも大切

令和4年度認知症地域支援・ケア向上事業

「認知症になったら終わり」ではない。

認知症でも笑顔で元気に楽しく過ごすことができます。

そんな経験談をお話しします。

丹野智文さん講演会「認知症とともに生きる」

令和4年9月17日（土）13：30～15：00

ラディアンホール（受付12：30から）

講演会終了後、交流会があります！

参加無料・事前申し込み制

☆申し込み・お問い合わせ☆

電話：0463-71-7085

メール：nisyakyo-houkatsu@swan.ocn.ne.jp

申し込み
QRコード



令和4年3月20日（日）町民センターにて「にのにんカフェ」を開催！
フリーアナウンサーの町亞聖さんをお招きし母親を介護した実体験をお話しいただきました。